

(年度評価)

名古屋市鯉城学園の管理運営状況

1 基本情報

<所管局:健康福祉局>

指定管理者	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会		
主な業務内容	鯉城学園の管理運営、鯉城ホールの貸出業務		
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日	指定管理期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	○	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
概ね適切に運営されている。令和5年度は専攻・定員を見直し、利用者満足度は、92.9%と令和4年度の88.9%から上昇している。入学者は、令和5年度の広報活動等により、令和6年度は若干定員を下回ったが概ね良好であった。しかし、途中退学者が130名出ているなど、引き続き学生の確保策の充実を図る必要がある。

施設の現状

名古屋市鯉城学園

施設の現状	施設概要							
	市内在住の健康で学習意欲のある60歳以上の方を対象に、教養の向上を図り、生きがいを高めるとともに、社会的活動への参加の促進、地域活動の核となる人材の養成に寄与するために設置した施設です。具体的には、学生に対する教養・専門講座、自主活動の実施、地域活動の推進等を行っています。また、鯨城ホールの貸出も行っています。							
	市の収支状況(千円)（5年度決算(見込)額）							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	81,417	50,414	131,831	1,799	2,035	127,997	131,831	-
	特記事項							
	収入のその他特定財源は、寄付金によるもの。楽陶館陥没復旧工事費用に充てた。							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	出願倍率		倍	0.8	0.8	1.2	1	
	鯨城ホール稼働率		%	26.8	36.8	61.5	57	
	利用者満足度(アンケートで「満足」「概ね満足」と回答した割合)		%	-	-	88.9	92.9	
	特記事項							
	平成26年度より事業の見直し 定員(1学年あたり):568名⇒760名 利用者負担:入学金 10,000円⇒0円 授業料(年額) 20,000円⇒48,000円 学科:10学科(12クラス)⇒4コース10専攻(16クラス) 平成30年度より福祉専攻をアクティブ福祉クラスと音楽コミュニケーションクラスと2クラス制とした 令和元年度より福祉専攻を福祉専攻(福祉)と福祉専攻(音楽)の2専攻とした 令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休校とした 令和5年度より定員と専攻の見直し 定員(1学年あたり):760名⇒568名 学科:4コース10専攻⇒コースを廃止し、8専攻							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載